















(様式第2号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社 新和）


















| 分類 | NO | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組 （※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|--|----|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | | | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 組織体制 | 1 | 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している。 | ● | | ・『経営理念』及び『経営目標』を明文化し、社内への掲示・自社ホームページ掲載等、社員に携行させている。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| | 2 | 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。 | ● | | ・安全大会や例会を通じて、法令遵守の考えを社内にも共有することで、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。 ・現場作業員は、必ず事務所にてアルコールチェックを励行し、法令遵守を徹底している。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| | 3 | 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。 | ● | | ・企業活動が社会や環境に与える影響に適切に対応するため、工事部・営業部・役員が情報共有と協議・改善策の検討を行い、持続可能な経営を推進している。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| | 4 | 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | ● | | ・地域住民や協力会社とのコミュニケーションを充実させ、自社活動が及ぼす影響を共有・把握することで、ステークホルダーと連携しながら適切に対応している。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 | |
| | 5 | 【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。 | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 6 | 【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。 | | ● | ・全従業員の緊急連絡先を整え、迅速かつ確に情報共有ができるよう体制が整っている。 | | | | | | | | | 9 | | 11 | | 13.1 | | | 16 | 17 |
| | 7 | 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている | | ● | ・社内に後継者を確保しており、経営方針や業務内容の共有を行い、計画的な後継者育成を実施している。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| 公正な取引 | 8 | 【贈収賄の禁止、公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している | ● | | ・就業規則に明記し、汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しないよう周知を徹底している。 | | | | | | | | | | 10 | | | | | | 16.5 | |
| | 9 | 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。 | ● | | ・意匠権、商標権、著作権等の侵害にあたらないよう、適切な取扱いと保護に努めている。 | | | | | | | | 8.2 8.3 | 9 | | | | | | | | |
| | 10 | 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。 | ● | | ・重要な個人情報については、特定の社員のみ取扱いを許可し、権限を限定することで情報漏洩防止に努めている。 ・鍵がかかる場所へ厳重に保管・管理し、セキュリティ強化に努めている。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 11 | 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。 | | ● | ・代表取締役が、『鹿児島県室内装飾事業協同組合』の役員を務め、業界内外の意見交換や課題共有、定期的な講習会を通じて、組合員の資質向上や技術力強化を図っている。 ・地域のロータリークラブや商工会議所、取引先との意見交換を積極的に行い、信頼関係を構築している。 | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 12 | 【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。 | | ● | | 1 | 2 | | | 5 | | | 8 | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 人権・労働 | 13 | 【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。 | ● | | ・就業規則に差別・ハラスメントの禁止を明記し、すべての従業員が安心して働ける環境を確保している。 ・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制運営を心がけている | | | | 4.3 4.4 4.5 | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | | 16.1 16.2 16.7 | |
| | 14 | 【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。 | ● | | ・夏期休業や育児休業を整備し、従業員が仕事と生活を両立できる環境を提供している。 ・36協定の範囲内で労働時間を管理し、過度な長時間労働の防止に努めている。 ・有休取得率（平均42%の取得実績）向上に取組み、従業員が家族の予定に合わせた休暇を取得できる環境を整え、従業員の満足度・職場の活力向上に貢献している。 | | | 3 | | 5.5 | | | 8.5 8.8 | | 10.3 | | | | | | | |
| | 15 | 【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 | ● | | ・従業員にはヘルメットや安全靴、空調服、作業服等の安全具一式を支給し、安全でかつ快適な職場環境の整備に取り組んでいる。 ・作業設備（脚立等）の点検を月に1回必ず励行し、業務中の事故や怪我のリスク低減に努めている。 | | | 3 | | | | | 8.8 | | | | | | | | | |
| | 16 | 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。 | ● | | ・人材採用に人種、性別、国籍などの違いによる差別的待遇はなく、均等な雇用機会を提供することで、多様な人材が十分に活躍できる環境を整備している。 | | | | 4.4 | 5.1 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | 16.7 | |
| | 17 | 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。 | ● | | ・事業パートナー（取引先や組合）との合同講習会や勉強会への参加等、適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。 ・各種技能検定や免許を取得する際の受験費用を『全額補助』し、従業員の技術力向上とキャリア形成を促進している。 | | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | |

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社 新和）


















| 分類 | NO | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組 （※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|---|----|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | | | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 人権・労働 | 18 | 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。 | ● | | ・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った公正な待遇を行っている。 | | | | | 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| | 19 | 【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。 | ● | | ・年1回の健康診断を実施。 ・35歳以上の従業員を対象に”胃カメラ”や”腹部エコー”の項目を追加し、病気の早期発見や予防に努めている。（※費用は全額負担） ・毎朝の熱中症指数検査を徹底し、健康被害を未然に防止している。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| | 20 | 【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。 | | ● | ・経費管理システムを導入し、材料の内訳や原価管理、勤務時間等を社員全員で共有。無駄の削減と適正なコスト管理を行い、現場管理の透明性を高めながら業務の効率化を図っている。 | | | | | | | | 8 | 9.1 | | 11 | 12 | | | | | |
| | 21 | 【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業、かごしま子育て応援企業、かごしま「働き方改革」推進企業 | | ● | | | | 3 | 4 | 5 | | | 8 | | 10 | | | | | | | |
| 環境 | 22 | 【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。 | ● | | ・自社が排出する廃棄物や有害化学物質について、専門の廃棄物処理業者に委託するなど、適切に処理している。 | | | 3.9 | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.3 12.4 12.5 | | 14.1 | 15.1 | | |
| | 23 | 【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。 | ● | | ・社内の電気やクーラーの使用を適正に管理・節電し、エネルギー消費の削減と環境負荷の低減に努めている。 ・循環センサー付きクーラーを導入し、エネルギー消費の最適化と環境負荷低減に取り組んでいる。 | | | | | | | 7.3 | | | | | 13 | | | | | |
| | 24 | 【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。 | ● | | ・低公害車（排ガス規制）の活用により、CO ₂ や有害物質の排出抑制に取り組んでいる。 | | 2.4 | | | | | 7.2 7.3 7.a | | | | | 12.4 | 13 | 14 | 15 | | |
| | 25 | 【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等）。 | ● | | ・裏紙をメモ用紙などに再利用する等、資源の有効活用を図っている。 【予定】・社内で使用するコピー用紙は再生紙を採用し、資源の有効活用と環境負荷の低減に努めている。 | | | | | | | | | 9.4 | | 12.4 12.5 | 13 | 14 | 15 | | | |
| | 26 | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。 | ● | | ・生物多様性保全の観点から、ゴミの分別回収を徹底し、資源の再利用と廃棄物削減を推進しています。 | | | | | | 6.6 | | | | | | | 14 | 15 | | | |
| | 27 | 【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。 | ● | | ・現場で使用する資材（鉄、シンナー等）は専門の廃棄物処理業者に委託し、適正に処理することで、環境汚染の防止、資源の再利用を促進による循環型社会の実現に貢献している。 | | | | | | 6.3 | | | 9.4 | | 11.6 | 12.2 12.4 12.5 | 13 | 14.1 | 15 | | |
| | 28 | 【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。 | | ● | ・営業車両の洗車時において、必要最小限の水で効率的に洗車を行うことで、水資源の保全に努めている。 | | 2.4 | | | | 6.1 6.3 6.4 6.6 6.b | | | | | 11.5 | | 14.1 14.2 14.3 | 15 | | | 17 |
| | 29 | 【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。 | | ● | | 1 | 2 | | | | 6.4 | | | | | | 12.3 | | 14 | 15 | | 17 |
| | 30 | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。 | | ● | | | | 3.9 | | | 6 | 7 | | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | |
| | 31 | 【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。 | | ● | ・環境の取組に関する情報を、社内や自社ホームページへ正しく開示している。 | | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | |
| | 32 | 【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。 | | ● | ・事務所内照明のLED化など、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。 | | | | | | | 7.1 7.2 7.3 7.a | | 9.4 | | | | 13.1 13.3 | | | | |
| | 33 | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | | ● | ・会社敷地内にある井戸水の適正な利用と管理を行い、過剰な取水を避け、資源の保全と再生可能な利用を徹底することで、天然資源の持続的利用に配慮した調達を心掛けている。 | | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | |
| | 34 | 【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。 | | ● | | | | | | | 6.1 6.3 6.6 | | | 9.4 | | 11.3 11.4 11.5 | 12.2 | 13 | | 15 | | |

(様式第2号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社 新和）

| 分類 | NO | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組 (※事業者が記載する欄) | 主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|-------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | | | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 環境 | 35 | 【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や、海洋汚染の防止に貢献している。 | | ● | ・従業員一人ひとりに水筒を支給し、使い捨てペットボトルの使用を減らすことで、海洋ごみの削減や海洋汚染の防止に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | | | 12.2 12.5 | | 14 | | | |
| | 36 | 【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。 | | ● | ・役員の営業車としてハイブリッド車を採用し、CO ₂ 排出量の削減、低炭素社会への移行を推進している。 | | | | | | | | | 9.4 | | 11.2 | | 13.1 13.3 | | | | |
| 製品・サービス | 37 | 【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。 | ● | | ・一級建築士の配置により、高品質な建築サービスの提供に努めている。 ・新たな製品を積極的に採用し、従業員と情報を共有しながら繰り返し使用を重ね、最も効果的で安全・高品質なものを選定・活用することで、施工の精度向上と品質確保に貢献している。 | | | 3.9 | | | | | | 9 | | | 12.4 | | | | | |
| | 38 | 【ユニバーサルデザイン】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。 | ● | | ・視認性の高い工事案内板や安全用具などを導入している。 | | | | | | | | | 9.1 | 10 | 11.7 | | | | | | 17 |
| | 39 | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。 | | ● | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 社会・地域貢献 | 40 | 【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 | ● | | ・地域イベントや地域ロータリークラブのボランティア活動など社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 ・赤い羽根募金を積極的に行い、地域福祉や社会貢献活動を支援している。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 41 | 【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。 | | ● | ・地域産物を贈答品として積極的に利用している。 ・地元企業から材料を調達することで、地域経済の活性化と持続可能な産業の推進に貢献している。 | | 2.3 2.4 | | | | | 7.3 | 8 | 9 | | 11.a | 12.3 | 13 | 14 | 15 | | 17 |
| | 42 | 【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、出前講座の実施など、地域の児童や学生に対し、学びの場を提供している。 | | ● | ・協力会社主催での県内高校生に向けた現場体験活動に参画し、若者に現場の仕事を直接体験させるなど、学 の場を提供している。 | | | | 4 | | | | 8.6 | | 10.2 | | | | | | | 17 |
| | 43 | 【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。 | | ● | ・高校生向け就職ガイドブック『ハピワク』への掲載を通じた情報配信を行うことで、将来を担う人材の育成と雇用創出に貢献している。 | | | | 4.4 | | | | 8.5 8.6 | | | | | | | | | 17 |
| | 44 | 【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。 | | ● | | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | | 14 | 15 | | 17 |
| | 45 | 【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。 | | ● | ・甑島への建設材料の手配を適切に行い、物流や資材供給の工夫を通じて、離島地域の持続可能な発展を支援している。 | | 2 | 3 | 4 | | | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | 14 | 15 | | 17 |
| | 46 | 【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や、関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」ではない、地域や地域の人々と多様に関わる人々） | | ● | ・県外出身の従業員に対する移住・交流促進の一環として、地元の祭りへの参加を支援。地域文化に触れる機会を提供し、地域社会とのつながりを深めたコミュニティ形成に貢献している。 | | | | | | | | 8 | | | 11 | 12 | | | 15 | | 17 |